

令和4年度 GIGA校内研修 実践報告

学校名（七尾市立和倉小学校）

| 月 | 研修テーマ〔研修形態〕 | 担当 | 関連する行事等 |
|------|---|------------------------------------|--|
| 4月 | ・GIGA校内研修年間計画作成、ICTサポーター来校日の授業計画作成 ・タブレットの設定等環境整備【全体】 ・校内研修会①（校内研修年間計画、タブレット使用のルール、GIGAびらき、パスワード等）【全体】 ・校内研修会②（情報モラルについての指導、ICTサポーター来校日の授業計画表、ICT活用授業一覧表、6年間でつけた力、データ保存場所等）【全体】 | 推進チーム 推進チーム 推進リーダー 推進リーダー | 児童集会 4/25(月)GIGA校内 研修推進リーダー研修 ※年間計画準備 |
| 5月 | ・ICTサポーターによるミニ研修会（ムブノート、Teams）【グループ】 | 推進チーム | 児童集会 5/17(火)GIGA校内 研修推進リーダー研修 |
| 6月 | ・動画視聴による研修（GIGAスクールライブラリ動画より）【グループ】 ・校務支援ソフトも含めたICTの活用について【全体】 | 推進チーム 教務 | |
| 7月 | ・ICT活用に関するアンケートの実施 ・校内研修会③（5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修の内容還元、ICT活用に関するアンケートの報告と実践交流）【全体】 | 推進リーダー 推進チーム | |
| 中間目標 | <ul style="list-style-type: none"> 全児童が情報モラルやルールを徹底して守り、タブレットを使うことができる。 児童が前年度までに習得した知識や技能をもとに、さらに活用の幅を広げていく。 全教師が、前年度までに習得した知識や技能をもとに、より効果的に活用するためのICT活用指導力を高めている。 | | |
| 8月 | ・校内研修会④（1学期の振り返りと2学期の取組確認）【全体】 ・タブレットの持ち帰りについて共通理解【全体】 | 推進リーダー 推進チーム | 8/4(木)視聴覚部会 夏季セミナー |
| 9月 | ・終礼時の短時間の研修（G研：GIGAスクールライブラリ動画視聴）【全体】 ・ICTサポーターによるミニ研修会（ムブノート）【グループ】 ・終礼時の短時間の研修（G研：Teams課題機能①）【全体】 | 推進チーム 推進チーム 推進チーム | 9/13(火)GIGA校内 研修推進リーダー研修 |
| 10月 | ・ICTサポーターによるミニ研修会（ムブノート）【グループ】 ・終礼時の短時間の研修（G研：Teams動画投稿について）【全体】 | 推進チーム 推進チーム | |
| 11月 | ・終礼時の短時間の研修（G研：Teams課題機能②）【全体】 ・終礼時の短時間の研修（G研：GIGAスクールライブラリ動画視聴）【全体】 | 推進チーム 推進チーム | |
| 12月 | ・終礼時の短時間の研修（G研：授業での活用について実践交流）【全体】 ・ICT活用に関するアンケートの実施 ・タブレットの設定等環境整備 | 推進リーダー 推進リーダー 推進チーム | |
| 中間目標 | <ul style="list-style-type: none"> 全児童が家庭の持ち帰りにおいても情報モラルやルールを徹底して守り、タブレットを使うことができる。 教師と児童が、学習や活動の必要に応じてタブレットを効果的に活用できる。 教師が学びの質を向上させるために、学び合いの場面で児童が自分の考えや思いを効果的に表現できるよう支援できる。 | | |
| 1月 | ・校内研修会⑤（ICT活用に関するアンケートの報告と実践共有、2学期の振り返りと3学期の取組確認）【全体】 ・終礼時の短時間の研修（G研：GIGAスクールライブラリ動画視聴）【全体】 ・終礼時の短時間の研修（G研：実践共有）【全体】 | 推進リーダー 推進チーム 推進チーム | |
| 2月 | ・ICTサポーターによるミニ研修会（ムブノート）【グループ】 ・終礼時の短時間の研修（G研：動画編集の仕方）【全体】 ・終礼時の短時間の研修（G研：実践共有）【全体】 | 推進チーム 推進チーム 推進チーム | |
| 3月 | ・ICT活用に関するアンケートの実施【全体】 ・校内研修会⑥（実践のまとめと次年度に向けて）【全体】 ・タブレットの設定等環境整備【全体】 | 推進リーダー 推進チーム 推進チーム | |

GIGA校内研修推進リーダー研修の内容を校内研修で還元している。

ICTサポーターと連携協力し、ICTサポーターによるミニ研修会を実施している。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全児童が情報モラルやルールを徹底して守り、タブレットを使うことができる。
- ・児童が前年度までに習得した知識や技能をもとに、さらに活用の幅を広げていく。
- ・教師と児童が、学習や活動の必要に応じてタブレットを効果的に活用できる。
- ・全教師が、前年度までに習得した知識や技能をもとに、より効果的に活用するためのICT活用指導力を高めている。
- ・教師が学びの質を向上させるために、学び合いの場面で児童が自分の考えや思いを効果的に表現できるよう支援できる。

情報モラルについて、校内で共通実践してきたことが児童アンケートの高評価につながっている。

成果

- ・児童アンケート「タブレットの約束やきまりを守って使っている」の肯定評価が96%であり、多くの児童が情報モラルやルールを守ることを意識し、タブレットを使うことができるようになってきた。
- ・児童が、タブレットの使用に慣れ、自ら主体的に工夫してタブレットを使うようになってきた。
- ・学校研究のテーマ「アウトプットを重視した授業づくり」を意識して、タブレットを効果的に活用した指導をすることができた。
- ・定期的な研修会（G研など）によって、タブレット活用のための知識を増やし、ICTを効果的に使用した指導力の向上、授業改善にいかすことができた。
- ・ICTサポーターと密に連携し、タブレット活用のための知識を得ることで、ICT活用指導力の向上につなげることができた。
- ・先生方の困り感に対応した研修を計画し、ニーズに合わせた研修を充実させることができた。

課題

- ・児童の学び合いがより深まるように、タブレットを使った実践を積み重ねる。
- ・児童が必要に応じて自分で選択してタブレットを活用することができる場を作る。
- ・アプリの使い方のみを習得する研修ではなく、具体的な授業を想定した実践的な研修を行う。
- ・授業の質を高めるために、タブレットの持ち帰り学習を充実させることで、授業に反転できる課題を設定する工夫を試みる。
- ・情報モラル教育の充実のために、年間指導計画を作成し、計画的な指導を行っていく。